



発表項目 (行事名)	段ボールベッドのコンテナによる災害用備蓄実証試験の開始について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>災害時に避難所で使用する段ボールベッドを、貨物用コンテナに屋外保管し、災害時にはコンテナごと避難所へ輸送する新たな試みを検討するにあたり、コンテナの保管仕様の違いが保管している段ボールベッドに与える影響について、研究機関などの協力のもと実証試験を行います。</p> <p>つきましては、下記の日時に、段ボールベッドのコンテナへの搬入を行いますので、お知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施主体：・地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研） 建築研究本部北方建築総合研究所 ・北海道</li> <li>◆日時：令和3年5月14日（金） 10:00から2時間程度 小雨決行</li> <li>◆場所：北海道立総合研究機構 建築研究本部 駐車場 (旭川市緑が丘東1条3丁目1-20)</li> <li>◆実施内容：コンテナ3基に段ボールベッド300台を搬入</li> </ul> <p>詳細は別添資料をご参照ください。</p>		
参考			

報道（取材） に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	上川総合振興局

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課地震津波係 課長補佐（災害予防） 八田 望 (011-206-7859)
-------------	---

## 段ボールベッドのコンテナによる災害用備蓄実証試験について

### 1. 実証試験の目的

- ・災害時の避難所において組み立て式の簡易ベッドとして使用する「段ボールベッド」は、平成23年の東日本大震災を機に実用化され、エコノミークラス症候群の予防や、寒さ暑さの緩和のほか、床に横たわるよりもほこりを吸い込むリスクが少なく、新型コロナウイルス等の感染症対策としても有効性が示されています。
- ・段ボールベッドの備蓄には、広い保管スペースが必要であることから、コンテナにより屋外保管し、災害時にはコンテナごと避難所へ輸送する方法が検討されています。
- ・近年の災害において、コンクリートに接して備蓄されていた段ボールベッドが結露で変形して使用できなかったとの報告もあることから、コンテナ内で段ボールベッドを保管する実証試験を行うこととしました。
- ・段ボールベッド等の備蓄については、令和2年5月修正の「防災基本計画」（中央防災会議）で位置付けられたところで、備蓄実証試験は全国で初めての取り組みとなります。

### 2. 実証試験参画機関

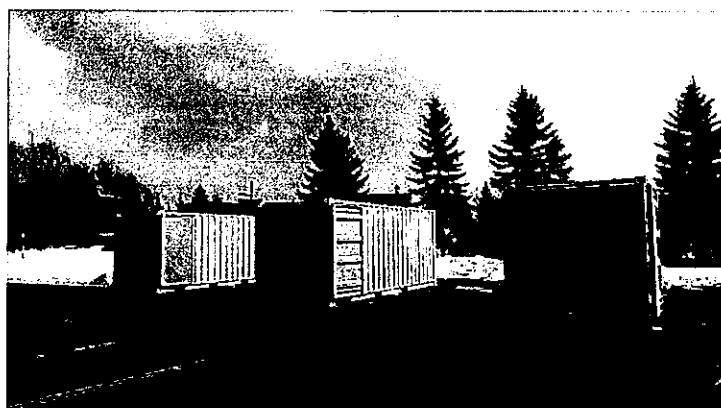
機関・会社・団体	役割等
北海道（総務部危機対策局危機対策課）	実施主体
（地独）道総研建築研究本部北方建築総合研究所	実施主体、試験担当
ウォレットジャパン（株）	コンテナ納入
合同容器（株）	段ボールベッド納入
（公社）北海道トラック協会	輸送に関する検討
日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センター	協力有識者：根本昌宏センター長

### 3. 試験概要

- （1）コンテナ：20フィートコンテナ 3基（内装の異なる3仕様のコンテナを設置）
- （2）保管資材：段ボールベッド300台（コンテナ1基に100台）
- （3）試験内容
  - ・温湿度測定、コンテナの換気性能測定
  - ・段ボールへの影響（含水、強度、カビなど）の調査
  - ・積み込み・輸送に関する実証

### 4. 試験期間

令和3年5月～令和4年3月



コンテナ設置状況（令和3年3月30日、道総研建築研究本部駐車場に設置）